# 年間指導計画　１年書写

| 月 | 単元名・教材名・指導目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
|---|---|---|---|---|
| ４月 | １．読みやすく書くための楷書 | | | |
| ５月 | ［やってみよう］<br>**漢字を分解してみよう**<br>（教科書 P38-39）<br>◎点画の種類を確かめ，穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］ | 毛筆<br>3 | 1 教科書の図を見て，漢字は点や画の組み合わせでできていることを確かめる。<br>2 漢字を構成する点画の名称と筆使いのポイントを確かめる。<br>3 穂先の向きと筆圧に気をつけて，小学校で学習した点画を毛筆で書く。 | 【知】点画の種類を確かめ，穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。<br>【思】（点画を書くなかで，穂先の向きや筆圧などを確かめている。）<br>【態】進んで(①)穂先の向きや筆圧などを確かめ(③)，学習課題に沿って(②)点画を書こうとしている(④)。 |
| | **漢字の筆使い**（教科書 P40-43）<br>◎点画の種類を確かめ，漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］ | | 1 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。<br>2「学習の窓」を見て，漢字の筆使いのポイントを確かめる。<br>3 漢字の筆使いに注意して，毛筆で「天地」「春風」を書く。<br>4 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「天地」「春風」「探究」を書く。 | 【知】点画の種類を確かめ，漢字の筆使いに注意して書いている。<br>【思】（毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで，漢字の筆使いを確かめている。）<br>【態】進んで(①)漢字の筆使いに注意し(③)，学習課題に沿って(②)「天地」「春風」を書こうとしている(④)。 |
| ６月 | **楷書に調和する仮名（いろは歌）**<br>（教科書 P44-45）<br>◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して，整えて書くことができる。［知技(3)ア，エ(ア)］ | 毛筆<br>2 | 1「いろは歌」の成立や平仮名の字源について理解する。<br>2「学習の窓」を見て，楷書に調和する仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。<br>3「結び」や「曲がり」「折り返し」の筆使いを確かめる。<br>4 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して，小筆で「いろは歌」を書く。 | 【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して，整えて書いている。<br>【思】（小筆で「いろは歌」を書くなかで，楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。）<br>【態】積極的に(①) 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して（③)，学習課題に沿って(②)「いろは歌」を書こうとしている(④)。 |
| | **文字の大きさと配列（俳句）**<br>（教科書 P46-47）<br>◎文字の大きさ，配列などについて理解して，楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。［知技(3)ア，エ(ア)，(1)イ］ | 毛筆<br>2 | 1 教科書Ｐ46 の「夏の夜や…」を見て，どこを直すと読みやすくなるかを考える。<br>2「学習の窓」を見て，文や文章を読みやすく書くための，文字の大きさや配列のポイントを確かめる。<br>3 必要に応じて，墨のすり方を確かめる。<br>4 文字の大きさと配列を意識して，小筆で「夏の夜や…」を書く。 | 【知】文字の大きさ，配列などについて理解して，楷書と楷書に調和する仮名で書いている。<br>【思】（決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで，文字の大きさ，配列などを確かめている。）<br>【態】進んで(①)用紙に合った文字の大きさ，配列などについて考え(③)，学習課題に沿って(②)小筆で俳句を書こうとしている(④)。 |
| ７月 | ［コラム］**文字の歴史を探る**<br>（教科書 P48-49）<br>◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。［知技(3)エ(ア)・(イ)］ | 毛筆<br>1 | 1 漢字には 3000 年以上の歴史があり，時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。<br>2 日本独自の文字である仮名が，漢字を元にして誕生したことを知る。<br>3 篆書・隷書・草書が生活の中で使われていることを知り，身近な使用例を探す。 | 【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。<br>【思】（文字の大まかな歴史を確かめている。）<br>【態】積極的に(①)文字の歴史について知ろうとし(③)，学習課題に沿って(②)身近な使用例を調べようとしている(④)。 |
| | ［学校生活］**目標を書こう**<br>（教科書 P50）<br>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］<br>○日常生活の中から課題を決め，材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。［B(1)ア］ | 適宜 | 1 教科書Ｐ50 の例を見て，目標の書き方を理解する。<br>2 目標（個人・グループ・学級）を考え，読みやすさを意識して，用紙・筆記具・文字の大きさや配列を考える。<br>3 これまでに学習したこと（漢字の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列）を生かして，目標を書く。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。<br>【思】（目標を書く活動のなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）<br>【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)目標を書こうとしている(④)。 |

| 月 | 単元名・教材名・指導目標 | 時数 | 学習活動 | 評価規準 |
|---|---|---|---|---|
| ９月 | ２．読みやすく速く書くための行書 | | | |
| | ［やってみよう］<br>速さを比べてみよう<br>（教科書 P52-53）<br>◎漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。［知技(3)エ(ア)・(イ)，(1)イ，A(2)イ］ | 毛筆<br>２ | １ 書く速さを意識して，一画ずつ丁寧に楷書で「春・夏・秋・冬」を書く。<br>２ できるだけ速く「春・夏・秋・冬」を書く。<br>３ １と２で書いた文字を比べて，速く書いたときの文字の特徴を話し合い，速く，読みやすく書くことができる行書を学ぶ意義を理解する。 | 【知】漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。<br>【思】（二つの速さで書き比べる活動のなかで，両者の形の違いを確かめている。）<br>【態】積極的に(①)速く書いたときの文字の特徴を捉え(③)，学習の見通しをもって(②)行書を学ぶ意義について話し合おうとしている(④)。 |
| | 行書の特徴（教科書 P54-55）<br>◎漢字の行書の特徴を理解することができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ，A(1)オ(2)イ］ | | １ 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ，話し合う。<br>２「学習の窓」を見て，行書の特徴を理解する。<br>３ 行書で書かれた「緑」を指でなぞり，行書の特徴を確かめる。<br>４ 教科書Ｐ55 下段を見て，今後の学習内容を知る。 | 【知】漢字の行書の特徴を理解している。<br>【思】(行書で書かれた「緑」をなぞるなかで，行書の特徴を確かめている。)<br>【態】積極的に(①)楷書と行書の違いを考え(③)，学習課題に沿って(②)行書の特徴を話し合おうとしている(④)。 |
| 10 月 | 丸み・点画の連続<br>（教科書 P56-57）<br>◎漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］ | 毛筆<br>２ | １ 行書で書かれた「一」を指でなぞり，楷書との筆使いの違いを理解する。<br>２「学習の窓」を見て，点画が丸みを帯びる理由と，行書で書くときの留意点を確かめる。<br>３ 丸みを意識して，毛筆で「一」を書く。<br>４ 行書で書かれた「二」「口」を指でなぞり，楷書との筆使いの違いを理解する。<br>５「学習の窓」を見て，点画が連続する理由と，主な連続の仕方を確かめる。<br>６ 点画の連続を意識して，毛筆で「二」「口」を書く。<br>７ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「一」「三」「日」「口」を書く。 | 【知】漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して，身近な文字を書いている。<br>【思】(毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで，行書の特徴＜丸み・点画の連続＞を確かめている。)<br>【態】進んで(①)行書の書き方（丸み・点画の連続）を理解し(③)，学習課題に沿って(②)「一」「二」「口」を書こうとしている(④)。 |
| 11 月<br>12 月 | 点画の変化<br>（教科書 P58-63）<br>◎漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］ | 毛筆<br>３ | １ 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して，点画（終筆の形）が変化している部分を鉛筆で囲み，形が変化する理由を話し合う。<br>２「学習の窓」を見て，点画の終筆の形が変化する理由と，主な変化の仕方を確かめる。<br>３ 行書には多様な書き方があることを理解する。<br>４ 点画の終筆の形の変化を意識して，毛筆で「大木」や「北西」「月光」を書く。<br>５ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「大木」「北西」「月光」を書く。 | 【知】漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して，身近な文字を書いている。<br>【思】(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで，行書の特徴＜点画の変化＞を確かめている。)<br>【態】進んで(①)行書の書き方（点画の変化）を理解し(③)，学習課題に沿って(②)「大木」「北西」「月光」を書こうとしている(④)。 |
| １月<br>２月<br>３月 | ［国語］季節のしおり１<br>（教科書 P64-65）<br>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。［知技(3)ア，エ(ア)・(イ)，(1)イ］ | 硬筆<br>１ | １ 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。<br>２ これまでに学習したこと（楷書の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列／行書の特徴）に注意して，楷書・楷書に調和する仮名，行書で季節の言葉を硬筆でなぞる。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。<br>【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。)<br>【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。 |